

第18回定期委員会を開催！^{3/8}

◀当面する方針▶ ・職場活動の活性化を勝ちとろう！

・3・27三里塚現地集會に総結集しよう

・4・9国鉄労働者集會に総決起しよう

・夏季物品販売の成功を勝ちとろう！

日刊 動労千葉

1988.3.11

No.2775

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

第十八回動労千葉定期委員会は、労働者福祉センターの会場があふれんばかりの委員・傍聴者の参加の下、大成功を勝ちとった。各支部は、第十八回定期委員会決定方針で早急に意志統一を図り、「四・一・体制」粉砕！革マル・鉄道労連解体！反合運転保安確立の闘いを軸に、当面の最大の焦点として三・二七三里塚一四・九国鉄労働者集會への総力決起、八八春闘勝利、夏季物販オルグの大成功のためにたたかおう！

全組合員の決起による職場・生産点の活性化を勝ちとろう！

を勝ちとろう！

労働運動というものは山あり谷あり、けつして平坦なものではない。国鉄労働運動は、ここ二三年で谷底へと突き落とされた。これからは頂上をきわめるために登りつめるのだ。JR当局は、革マル・鉄道労連と結託し、「六三・三」合理化を突破口に、新たな動労千葉！国労破壊を強めるであろう。しかし、敵の弱点は鉄道労連にある。十万人といわれる鉄道労連はけつして団結していない。まして、千葉の運転職場では百数十名の少数派である。今日の殺人的労働強化！強権的労務支配の攻撃をひき出しているものこそ、革マル・鉄道労連であることをハッキリさせ、原則的な活動を追求し、鉄道労連解体闘争を軸に、職場生産点におけるたたかいの活性化を勝ちとろう！

三・二七三里塚現地集會への総力決起を勝ちとろう！

今日、反動竹下政権は、戦後民主主義的なものをすべて総決算し、世界的支配体制の危機を改憲！軍事大国化によってのりきろうとしている。その最大の柱として三里塚二期を強行しているのだ。そしてまた、三・二七は、労農連帯を堅持し、たたかいぬいた国鉄労働者にとって「分割・民営化『一周年』」を糾弾し、職場・生産点で断固闘う決意を示しぬこう！

四・九国鉄労働者集會への総結集しよう！

「分割・民営化」強行から一年、今日何よりもハッキリしていることは、「国

ウラヘン

〈真剣な質疑〉（要旨）



乗務員分科・渡辺委員

昨年の地震の時も当局は、列車無線での緊急停止合図さえ怠るなど、大変大きな問題があった。にもかかわらず、反省するどころか、地震時の取り扱いさえ改善しようとしている。

いすみ鉄道支部・五十嵐支部長
一月に動労千葉の十一番目の支部として、いすみ鉄道支部を結成した。ワンマン運転をはじめ様々な問題で連日闘って
S.N.O.



千葉転・繁沢委員

売店への強制配転、「六三・三」での問題、組合員の要求をぶつけて当局とたたかってきた。

3・27三里塚に結集しよう

不屈にたたかう各界の来賓あいさつ

定期委員



映画監督・宮島義男氏

たたかう原点は、ひとりひとり心にある。原点というのは出発点であり、目標である。原点を守りぬいている動労千葉は大衆の多数に支持が拡がっている。



動労水戸・辻川委員長

水戸の地で動労総連合の拡大をかちとる。

定期委員



争議団連絡会議・新居崎氏

動労千葉の不屈の闘いは争議団にも通ずる。全民労連に屈しない。統一労組懇というギマンの流れにも屈しない。差別・排除を許さず、実力闘争でたたかいぬく。

物販運動を軸に組織

財政基盤の確立を!

動労千葉の闘いにとって、組織・財政基盤の確立は決定的だ。「七五〇名組織」と三〇名の争議団の真の確立のために、たたかう! とりわけ、物販販売は、組織・財政基盤の確立のたかいと同時に、動労千葉支援の輪を拡大するたかいである。全国オルグ団を結成し、夏季物販の成功をかちとろう!

鉄問題」は何一つ解決していないという

ことである。清算事業団の膨大な「赤字」、「黒字」など全く展望できないJR、「土地」・整備新幹線にみられるより悪質化した利権政治の介入、一企業一組合の破産・革マル問題の全面化。勝負はこれからだ。さらには、今日の労働運動の動向にとって八八春闘勝利のためのたたかいが決定的だ。「四・一体制」粉碎!生活破壊を許さず、四・九集会へ!

百名をこす参加の下 かちとられた委員会



真剣な質疑(要旨)



銚子・錦織支部長

「六三・三」で六名の労連組合員が帰ってきた。当局と「本部」派とつるんで、われわれには接触させないようになっている。労連解体闘争をさらに強める。

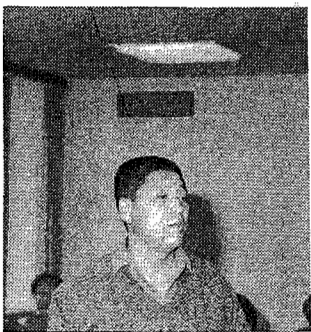


新小岩・関支部長

「鉄路に生きる」上映会が大成功をおさめ、支部としても大きな教訓を得た。

「4・1体制」粉碎!
革マル鉄道労連解体!
右翼労戦統一粉碎!
88春闘勝利!

4・9国鉄労働者集会



佐倉・宮内委員

旅客の苦闘を受けとめ、三・二七に佐倉支部の総決起をかちとる。